ほけんだより 11月号

令和8年11月1日
かすみ台第三保育園

朝晩の冷え込みが強くなり、少しずつ冬の訪れを感じる季節になりました。日中との気温差も大きく、体調を崩しやすい時期です。
インフルエンザ、胃腸炎などの感染症にも気を付けていきたいですね。

10月の保育園での感染症は、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、RSウイルス、マイコプラズマ肺炎疑いなど様々な感染症のお子さんが見られました。
インフルエンザが流行することは今のところみられていません。
多様なウイルスに感染してしまうのは、温暖化や長雨など例年とは違った気候の変化によるものなのかもしれません。

感染症の原因となるウイルスは、私たちの身の回りに存在することがありますが
いつでも、どこでも、すべてのウイルスが空気中を漂っているわけではありません。

① 空気中に漂うことがあるウイルス　麻疹・水痘・新型コロナウイルス・インフルエンザなど
② 手や物を介して感染するウイルス　ノロウイルス・RSウイルスなど
③ 飛沫などによって広がるウイルス　インフルエンザなど

いつでも感染するわけではなく、気温や湿度、人の過ごし方、ウイルスの性質などが関係しています。

子どもたちが毎日元気に過ごせるように、手洗い・換気・十分な睡眠など、身近なことから感染予防を心がけましょう

☆冬の感染症を予防しましょう

① 外から帰ったら手洗いを！
② お部屋の空気を入れ替えましょう
③ しっかり食べて、しっかり眠ろう！

朝晩と日中の気温差が大きい季節です。毎朝、お子さんの顔色や機嫌、食欲などを確認してから登園しましょう。



ご家庭と園で子どもたちの小さな変化を共有しながら、元気に冬を迎えられるよう見守っていきたいと思います。

保育園での感染症が広がらないのは保護者の方のご協力が大きいです。

いつも早めの受診、早めの休養にご協力ありがとうございます。

